

## 仁田元沢

平成 24 年 6 月 9、10 日

Ⓛ 白土（久）、齋藤、薄田（記録）

### 8 日（金）

銅親水公園手前の駐車場で前泊。雨。明日はゆっくりできそう。

### 9 日（土）

何を思ったか、雨が止んでいる。絶対にはないと思っていただけに、うれしい反面、正直がっかりした（2:98 くらい）。本当に、このときだけ雨が止んでいた。

銅親水公園駐車場から橋を渡り、林道をしばらく歩く。ここの登りが結構きつかった。しばらくして歩いて堤防を越えたところを、トラロープにぶら下がり入溪。雨ではあるが、沢自体は非常に美しい。やっぱり来てよかった。いつもそうだが、山に入る直前というのは気持ちが乗らない。しかし来てみるとやはり素晴らしいし、また来たいと思う。

雨の中を快適に進んでいく。途中で齋藤さんが岩魚を見事に釣り上げる。初めて見た。この後、齋藤さんは晩の食材のために釣り、白土さんと私は先にビバーク地に行くことに。連曝帯を越えたところが本日のビバーク場所。タープを張ったり、焚火を集めたりするが、雨に打たれ寒さに震え、ここが私にとって今回の一番の核心でした。

雨の中焚き火ができるのかと少し不安でしたが、無事火もつきほっとする。夕飯は担当の白土さんがいろいろ出してく

れ、さらに齋藤さんの岩魚の塩焼きもあり、たいへんおいしく頂いた。

### 10 日（日）

気温もだいぶ下がり、朝方はシュラフカバーだけでは寒かった。しかし朝日も差し込み、気分は良い。2 日目はおだやかな沢歩きのあと、たいした詰めもなく一番乗りで、庚申山山頂に到着。あとは雨の中、他の隊を待ち下山。



とある釣り師



源頭

